令和5年度　　緑陽中学校　第44週　　予定表　　【教室掲示用】

磨き合う緑陽　　**～「もっとよい自分」づくりを基盤として～**

日 曜	日課 部活 下校	学年	1日の流れ（生徒の活動） 校時 1	2	3	4	5	6	放課後	校内関係 各種行事	備考
18 月	50 × 14:50 15:40	1					清掃	／	／	⑤大清掃・ワックスがけ 給食・ふれあい→帰りの会→⑤	帰りの会　13:40～14:00 教室清掃　14:10～14:20 清掃　14:25～14:45 最終下校（ワックスなし）14:50 ワックスがけ　14:55～15:25 最終下校（ワックス）15:40
		2					清掃	／	／		
		3	／	／	／	／	／	／	／		
19 火	50 ○ 15:30 16:30	1						／	／		⑤時　13:35～14:25 清掃　14:35～14:45 帰りの会　14:55～15:15 最終下校（部活なし）　15:30 部活　15:25～16:15 最終下校（部活あり）16:30
		2	火2	火3	火4	火5	総	／	／		
		3						／	／		
20 水		1 2 3								春分の日	
21 木	50 × 16:00	1						／	／	⑤後期まとめの会＆認証式 ふれあい→清掃→帰りの会→⑤	ふれあい　13:10～13:30 清掃　13:35～13:45 帰りの会　13:55～14:15 後期まとめの会14:25～15:15 認証式・任命式15:15～15:45 最終下校　16:00
		2	木2	木3	木4	木5	総会	／	／		
		3						／	／		
22 金	50 × 15:30	1						／	／	第二次選抜検査 水曜日課	給食　12:35～13:10 ふれあい　13:10～13:30 ⑤時　13:35～14:25 清掃　14:35～14:45 帰りの会　14:55～15:15 最終下校　15:30
		2	水1	水2	水3	水4	水5	／	／		
		3						／	／		
23 土		1 2 3									
24 日		1 2 3									
25 月	50 × 15:30	1						／	／	第二次選抜合格発表	給食　12:35～13:10 ふれあい　13:10～13:30 ⑤時　13:35～14:25 清掃　14:35～14:45 帰りの会　14:55～15:15 最終下校　15:30
		2						／	／		
		3						／	／		
26 火	特 × 12:00	1				／	／	／	／	①修了式 ③離任式	朝の会　8:25～8:35 修了式　8:50～9:15 学活　9:35～10:25 机移動　10:25～10:55 離任式　11:05～11:30 最終下校　12:00
		2	修了式	学	離任式	／	／	／	／		
		3				／	／	／	／		

一期一会に感謝

本来の「一期一会」には、「一生に一度だけの機会。生涯に一回しかないと考えて、そのことに専念する意。」という意味があります。しかし、先生はこの熟語には「期」の文字があり、その字には「区切られた期間」という意味があるので、「一期一会」を「区切られた一定期間での出会い」と捉えています。（本来の意味とは異なります。あくまで先生の捉えです。）

先生がこのような捉えをするのは、学校生活では「一年」を単位として出会いと別れがあるからです。一年間という期間限定で今の学級があり、担任・教科担任がいるのです。その限られた期間の中で、日常生活を送り、授業に取り組み、体育祭に挑んだり、合唱交流会で心を合わせて歌ったりしてきたのです。そんな学級の仲間とも別れるのが学級解散式なのです。

学級解散式で大切なことは、自分たちが４月に「こんな学級にしたい！」と掲げた学級目標の達成に向けて取り組んできた日々を振り返り、達成できた事実を確かめ合い、成長したことを実感し合うことです。そして、その達成できた事実や成長の実感の背景には、「仲間」が必ずいます。その「仲間」に感謝をすること、それが学級解散式という場なのです。

１・２年生のみなさんにとって「学年」の仲間は変わらないので、学年でスタンダードの活動をしていると思います。しかし、その活動を共にしている「学級」の仲間は来年変わります。今を大切にして、学級解散を迎えてください！

梅村亮介のちょっと真剣な話～「人とつながる喜び」～

最終号だから何か素敵なことを書きたいと思ったら、時間がかかってしまっている梅村です。というわけで、素敵なことを書くことを断念して、「いつも通り」を大切に書いていきます！でも、ファミ〇もフラッペも出てきませんので・・・。

今年度は全校向けに週報を作成していますが、最初は前任校の学級向けからでした。それが学年向けになり、そして今では全校向けて作成していることを考えると不思議な感じです。これで、８年間週報作成をやり遂げたことになります。達成感でいっぱいです。生徒には今年度はデータ配信（希望制）でした。配信されると予定よりもどうでもいい話から見る生徒が多いこと、懇談などで来校される保護者の方から「週報読んでいます！」と言われること、卒業生がホームページで読んでくれてたりすることなど、実はとてもうれしいです。

「学校」という場の原点は、「人とのつながり」だと先生は考えています。担任や主任といった立場ではないけれど、週報を通じて、全校のみんなや保護者の方、卒業生とつながれた幸せでいた。１年間、有難うございました！